

(配布先)
支店長・副支店長
施工担当部署長・建設所長
副部長・副所長・統括工事長
安全長・安全主任
工事長・工事主任
関西支店取引業者災害防止協議会

事務連絡(2024-35)
令和6年11月18日

関西支店 安全環境部長

「事故・災害 自分ごと化プロジェクト」の推進について（要請）

令和6年度 全社安全衛生計画の重点施策に定める「ゼロ災を達成するための行動規範」として、“全員が当事者意識を持ち「自分と仲間の生命と心身の健康を守る」という信念で、「ダブルセーフティ」を基本に、円滑なコミュニケーションのもと、PDCAをしっかりと回す”を掲げています。

しかしながら、災害の多発に歯止めが掛からない状況が続いており、このような状況から脱却するには作業員一人ひとりの危険感受性の向上が欠かせません。

つきましては、当社で発生した事故・災害を自分にも起こりうることと認識し、作業員自らが再発防止策を考える「事故・災害 自分ごと化プロジェクト」を下記の要領で推進してください。

また、本活動の定着を図るため、作業所では「積極的な取り組みをしている取引業者」、部門では「優良な作業所」の表彰等について検討するよう要請します。

記

1. 実施事項：事故・災害発生状況を示した資料をもとに、作業グループごとに意見交換を実施した上で、作業グループとして同種事故・災害を防止するための行動目標を立案し実践
2. 開催頻度：月1回以上（2回目以降は、取引業者の任意）
[例]安全衛生協議会、事業主パトロール、官庁工事「安全勉強会」などの機会に合わせて実施
3. 開催テーマ：当社の事故・災害から事業主や職長、または作業所長が選定
（参考：当社の災害事例検索↓）
<http://intranet.shimz.co.jp/anzen/under4days/>
4. 現場内掲示：立案した行動目標をデジタルサイネージ等により現場に掲示
5. 添付資料：（資料1）関西支店活動例
（資料2）「現場内掲示」の例（原紙データ付）

※この事務連絡は、事務連絡 24-27(令和6年11月14日)安全環境本部発行に基づき作成しました。

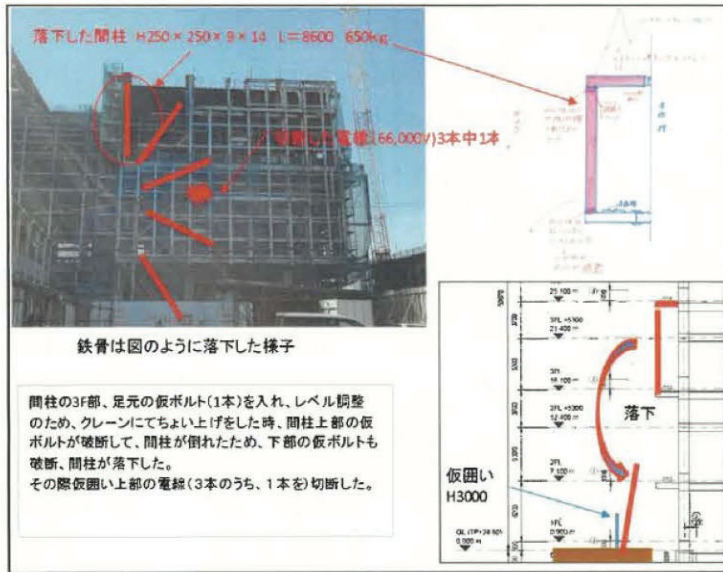
以 上

「事故・災害 自分ごと化プロジェクト」 関西支店活動例

他支店の事故例を元にして
枚方トンネルで自分ごととして展開した活動です。

【命守ろう】災害を自分ごととしてとらえる勉強会資料

(鉄骨倒壊) 建方中の鉄骨が落下して電線を切断し停電 2024年8月3日(土) 13:30



◆発生状況

3F～4Fにて外部附帯 鉄骨（メッキ）を跳ね出し梁と間柱をL形に地組して取り付けようとしているときに間柱の足元の仮ボルト（1本）を入れ、跳ね出し梁のボルトを入れるために、クレーンにてちょい上げをしたところ柱上部の仮ボルトが破断して、間柱が倒れたため、下部の仮ボルトも破断、間柱が落下し、仮囲い上部の電線（3本のうち、1本）を切断、近隣約90軒が最長7時間停電した。

◆原因

- 下部のボルトを入れた状態でフックを巻き上げてしまった

◆背後要因

- 仮組みの状態で揚重し、設置しようとした

この災害から、自分たちはこうする！

- ・クレーンでのボルト目調整をやらずにバール等で合わせる。
- ・万が一に備えて落下防止を付ける
- ・工事前に電線の位置を替える。
- ・

枚方トンネル建設所 エスシーマシーナリ 班

- おかし
- ボルト数の確認
- 作業手順の確認、周知会での作業方法の確認
-

枚方トンネル建設所 ヤコト 班

- 仮ボルトの本数が足りなかった
- ボルトの強度に関する認識不足
- 作業計画の詰めがなかった

枚方トンネル建設所 UGI 1 班

- ・作業手順の確認
- ・上下作業をしない
- ・落下防止をする

枚方トンネル建設所 UGI 2 班

- 仮組みの状態で揚重しない。
- レベル調整時はクレーンを使わずチェーンブロックを使用する

枚方トンネル建設所 UGI 3 班

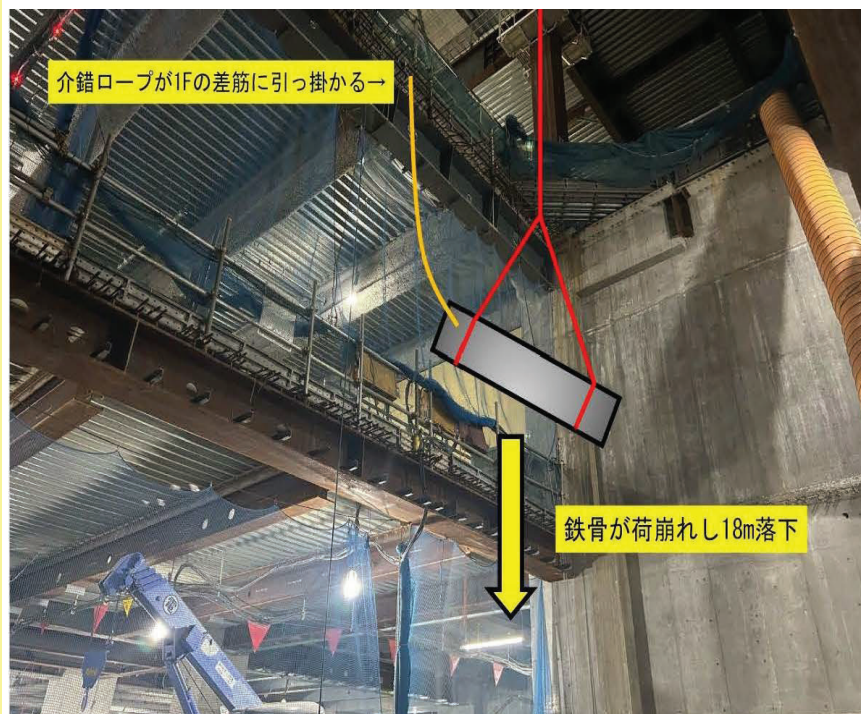
事故・災害 自分ごと化プロジェクトにおける「現場内掲示」の例

この災害を自分ごととして、作業員から「自分はこうする！」宣言を下記欄に入力して下さい！

(飛来・落下) 鉄骨材荷降ろし作業中に鉄骨材が落下し、下部にいた鉄骨工に激突

◇ 発生日時：2024年10月19日（土）午前9:25分頃

◇ 被災者： 鉄骨工 28 歳（所属 4次） 経験 10年5ヶ月



B4F鉄骨建方作業において、1Fから-24mのレベルコン上へ鉄骨荷降ろし中、玉掛けした孫梁8本(H鋼250×125×5×8、1.4～1.6m、約400kg)の介錯ロープが、1F仮設開口の床差筋に引っ掛かったまま荷降ろししたため、荷崩れしてB1Fレベルから約18m落下して、下部で建方合番していた鉄骨工に激突した。

この災害を防止するために、次のことを守り・守らせます！（〇〇〇〇年〇月〇日 〇〇業者 〇〇班）

1)

2)